

認知症発症後に作成された遺言書は、正式に認められるのか

父が認知症と診断されました。厄介なのは作成していた遺言書が見つからないこと。父もどこにしまったのかまったく思い出せず、大騒ぎに

呂書は、正式に認められるのか
なっています。もし、このまま見つからなければ、新たに作成しなければいけないと
思うのですが、認知症後に作られる遺言書
は正式に認められるのでしょうか。

A 認知症の診断を受けた後でも、遺言できる場合があります。遺言をする

には遺言能力が必要ですが、遺言能力とは遺言の効果を認識する能力で、意思能力といわれるものであります。誰に何を遺るということがわかつていれば、遺言能力があります。民法には意思能力の他に行行為能力といって、例えば未成年者は原則として取り引きできないとか、成年後見が開始された被後見人は単独で契約できない等の制度があります。

しかし、遺言には行為能力の規定は適用されず、さらに15歳以上の未成年者も遺言できます。遺言が一般の経済的取り引きと違つて、死後に効果が生じるものであるし、遺言者の意向を尊重すべきことから、意思能力さえあれば、遺言で明な時があれば、遺言は可能です。ところで、民法973条では成

時の 法律相談

●弁護士 竹下正己

するには、医師二人以上の立会いを一時回復した時ににおいて遺言書を一時回復した時における立会いがなければならない」と定めています。認知症が進み意思能力を常時欠く状態になり、成年後見手続しが開始した場合でも、一時的に回復したときには、医師2人の立ち会いで遺言できるのです。

この場合、医師は遺言者に意思能力があることの証明を遺言書に書きこんで署名押印することが必要です。認知症を理由に後から意思能力がないから無効といわれる心配があれば、この規定が参考になります。証人2人の立ち会いが必要な公証人による公正証書遺言の方式にして、主治医を証人にし意識清明で意思能力のある旨の診断書の作成を受けるのです。

本人が入院中で外出できなくても、公証人に病院へ出張を依頼できます。私は高齢者で認知症の疑いをもたれそうな遺言者については、この方法を取っています。

＜プロフィール＞1946年、大阪生まれ。東京大学法学部卒業。1971年、弁護士登録。

赤ストバヌル

【答えるヒント】

賞金一万円

1	ス	ビ	一	ド	コ	ツ	キ
6	テ	ツ _C	ア	ジ	ト		ン
9	ル	ク	ス ¹⁰	シ	ユ _E	ツ	バ
	ス	ブ ¹²	シ _D	ヨ	ウ		ク
	フ _A	リ	ン	キ	レ _B		
17	ヤ	ジ	シ ¹⁸	ヒ	キ	ジ ²¹	
22	マ _F	タ	ギ ²³	ト ²⁴	ウ ²⁵	シ	バ
	オ		ヨ ²⁶	ン	デ _G	ン _G	ク

はなくこちらでせひ。⑩狩猟可能な日中國、北海道、東北地方の狩人野を先知したメークーは、⑪伊方原発1号機の廃炉を決めた四国電力、愛称は？
△天空軍がイタリック戦争でも使用した、
B2——爆撃機 ②半ターを強く時に持ちます ③内開きと外開きがありま
す。白鷹に掛け声が印象されながらも押し通し、飛行場所は関脇でもゴーランデンボンバーを鳴ます？ ⑧ナポレ
野球の練習に、⑨香川岡崎ら、サッカーレー選手にはなぜが多い名前？ RA久々の女性ショッキー——菜七子騎手 ⑯昔に比べ、教科書の内容がかなり変わった教科、⑮ガソリンや間伐題で話題の民進党新女性政調会長、
—氏 ⑰海の底にいる星 ⑯テロロッパは防ぐのが難い。日本でも嚴重な警戒を ⑲かなかクンの言葉の語尾に付く『ゑ』をたらおしまい